



令和7年9月30日(火)発行 No.6

秋田県立ゆり支援学校 PTA 事務局

全国知P連

令和7年度「第41回全国研究協議大会 東京大会」に参加して

ゆり支援学校PTA会長 金子 宗元

8月23日(土)、千代田区丸の内のJPタワー4階～5階において、全国特別支援学校知的障害教育校PTA連合会 令和7年度「第41回全国研究協議大会 東京大会」が「多様性を育む心のネットワーク、すべては子供達の笑顔のために」のテーマにて開催されました。



この大会で、個人的に一番印象深かった、シンポジウム『ウェルビーイングは、自己選択自己決定から』についてご紹介します。

発表者の一人、社会福祉法人みなと社の森下浩明氏は、厚生労働省障害者総合福祉推進事業「意思決定支援のガイドライン作成に関する研究事業」にも携わる方で、「意思決定支援」は、障害者基本法に明記され、重度の知的、精神障害により、言葉を発せず、意思が伝わりにくくても、必ず個人の意思は存在するのであり、支援する側の判断のみで支援を進めるのではなく、当事者の意思決定を待ち、見守り、主体性を育てる支援が意思決定支援だとのことでした。これによって共生社会を実現し、障害者への見方を、従来の「保護また治療する客体」という見方から、「人権の主体」へと転換することに意義がある、というものでありました。

意思としての「こころ(こころ)」は人の「内」にあるようでも、実は、人と人との「間」に生まれ育まれるもので、さまざまな出逢いや体験・経験の中で生まれるから、「こころ」の発達、自分らしさを発揮できる、自分を大切にしてくれる人との出逢いであり、「関係性の広がり」、「居場所の広がり」、「可能性の広がり」だとのことでした。

従って、どんなに障害が重い方でも、意思がある存在であるのだから、日常の会話の中に「本人」を置き、言葉かけや話しかけ、挨拶、説明を大切に、表情やしぐさ、快・不快を観察し、その人の特徴を捉えていくことが大事であり、「笑顔」の中で暮らすことが、当事者の自己肯定感や自己存在の確認につながるので、ご家族や、支援者が「笑顔」でいることが一番の支援の形だということでした。

また、東京学芸大学特別支援教育・教育臨床サポートセンターの橋本創一氏は、人生満足度や幸福感には、自尊感情や自己肯定感の高まりは必要不可欠であるが、それは、他者への意識を様々な経験において高めていくことが必要で、そこで大切なのが、「重要な他者」(ほめられたい人／一番喜ばせたい人／叱られてイヤな人)だということでした。

自他意識の循環は、重要な他者を意識し→(重要な他者からのフィードバック〔これをしたら褒められた・喜んでくれた・叱られた等〕により)他者の思い・期待を知り→自己を認識・理解していく→そして新たな他者意識へ、という形で循環し、他者受容と自己理解によって、自己受容(本来感)、ありのままの自分を受容するということなどが語られました。

こうした講演を拝聴して、私自身、私の子どもも十分に発語して意思表示出来ない部分があることから、時として親の思いで誘導してしまう部分があったと痛感し、反省する契機となりました。ぜひ、皆さんにもお考えいただければと存じます。



裏面有り

～PTA研修「進路研修」(9/2)～

今年度の進路研修には、37名という多くの保護者の方々に参加していただき、「グループホーム朋」、「グループホームまつかぜ」、「秋田県心身障害者コロニー」、「株式会社プレステージ・インターナショナル秋田 BPO にかほキャンパス」の4か所を見学してきました。卒業後の様々なニーズを想定した見学先となり、参加された保護者の方々から、「今まで知ることがなかった現状が知れて良かった」や「卒業生の生の声が聞くことができて良かった」などの感想をいただき、充実した研修となりました。

◆「グループホーム朋」 平成28年4月設置

- ・男性棟、女性棟がある。それぞれ定員5名だが、緊急時のために一部屋ずつ空けている。
- ・家賃月額 3万円 ・食費1食 450円
- ・生活費等含め月6～7万円で生活
- ・高等部を卒業後すぐに入所している人は少ない。
※障害者年金の受給は20歳からであり出費が多いため
- ・3年ごとに更新手続き有
- ・宿直がいる。
- ・週末帰省、家族の面会可能



◆「グループホームまつかぜ」

- ・今年2月からコロニーの人たちが地域で生活するために設立。住みやすい環境でバリアフリー(シルバーカーや車椅子対応)。浴室にも入りやすい。
- ・家賃3万円・食費1食 450円
- ・障害者年金で手元に2万円が残るように設定。



- ・お金の管理をすべて任せている人もいます。
- ・看護師3名は通院の補助、宿直は2名が交代で行っている。

◆「秋田県心身障害者コロニー」

開設：昭和46年5月

【日中支援サービス】

- ・生活介護(定員350名)
- ・就労継続支援B型(定員60名)

※入所、通所での就労形態

◎作業内容

- ・果樹、園芸 ・スノーポール製造
- ・小型家電リサイクル ・パン製造

※基本的に本人の希望を優先している。

就労後に適性を見極める。

【地域生活支援サービス】

- ・短期入所事業
- ・日中一時支援事業



スノーポール
年2万本製造



小型家電
リサイクル



◆株式会社プレステージ・インターナショナル秋田 BPO にかほキャンパス

【業務内容】

- ・自動車、コインパーキング、アパートの住宅トラブルなどへの対応やサポート
- ・海外旅行での緊急時の保険業務サポート等

【施設の特徴】

- ・現在350名程度の社員が各部署に勤務しているが、500名程度が勤務できる施設となっている。
- ・健康で働きやすい環境を大事にし、施設内にトレーニングルームやリラクゼーションルーム有り。
- ・カフェは社員以外も利用可。

【卒業生の講話から】

- ・卒業後、山形に1か月間宿泊し新人研修を受けた。会社の就業規則、給料の仕組み、社会人としての言葉遣いやマナーなど多岐に渡って同期と一緒に学び、充実した研修だった。
- ・働くために日常生活で気を付けていることは、必ず7時間程度睡眠を取り、体調を維持できるようにしている。
- ・学生時代にもっとやっておけば良かったと思うことは、体力を付けることと、進路について担任の先生に普段からもっと話しておけば良かったということ。

